

NO. 12

自然観察

1 ねらい

泉ヶ岳は、春の芽吹きと新緑、夏の太陽に輝く清らかな沢、秋の紅葉、冬の雪景色といった四季折々に自然の魅力を見せてくれる。それらの大自然の姿を見つめ、五感を生かして体感し、親しみ、自然への興味・関心を高める。

2 活動の計画

- (1) 活動期間 年間を通じて活動可能
 (2) 所要時間 約2～4時間程度
 (3) グループ編成 1グループ 8～10名程度
 (4) 活動場所

自然ふれあい館での観察フィールド〔次頁からの生物カレンダーやフィールドマップ参照〕

観察分野	主な活動フィールドと対象
植物観察	館の周辺・登山コース・兔平・やすらぎの森・ヒザ川・ヤシキ川周辺
野鳥観察	古民家周辺，登山コース，ふるさと緑の道付近
動物観察	カモシカ，リス，イタチ，ウサギ，キツネ，タヌキ等が生息しているが 集団登山者の前に姿を現すことは少ない。 足跡や糞，角をこすった跡や食痕を見つけることができる。
昆虫観察	館の周辺，泉ヶ岳スキー場ゲレンデ，やすらぎの森
両生類観察	ヒザ川・ヤシキ川周辺〔ハコネサンショウウオ〕 池〔イモリ・モリアオガエル〕
魚類・水生生物観察	ヒザ川・ヤシキ川・関口 等
地勢・地形的観察	登山コース・ヒザ川・ヤシキ川周辺

(5) 準備物

〔自然ふれあい館〕	〔利用団体〕
図画板，バインダー，双眼鏡，ルーペ，図鑑，ネイチャービンゴカード	・団体の利用に応じて筆記用具や用紙，デジタルカメラ 等

3 展開例

(1) 植物図鑑づくり〔植物観察＋観察画〕

《活動コース例》ふれあい館～ヤシキ川近辺～古民家近辺～やすらぎの森～泉ヶ岳スキー場ゲレンデ近辺

① 準備物

自然ふれあい館	利用団体
<ul style="list-style-type: none"> ・ルーペ ・図画版 ・バインダー 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本は鉛筆画〔2H・HB・2B等 3種類あるとよい〕 ・用紙〔ケント紙や厚口の上質紙、薄口の画用紙等〕 ・必要に応じて、色鉛筆や絵の具セット

② 当日の流れ

	活動内容	指導上の留意点
事前 〔2時間〕	<ul style="list-style-type: none"> ・見つけてみたい植物について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2～3種程度を様々な角度から調べる。
当日 〔2時間前後〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーペを使用し、その場でスケッチする。その際、事前に調べたことが確認できるようにデジタルカメラで撮影してもよい。 ・葉は押し花での保存も可。カラーコピーを取ると葉脈もよくわかる〔事後の活動〕 ・特徴も書き加えてみるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の範囲は、例を参考に。 ・植物の採取はしない。落ちているものを拾うのみ。
事後 〔1時間〕	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイリングの仕方を工夫する。

(2) デジタルカメラ撮影による植物図鑑づくり

① 準備物

自然ふれあい館	利用団体
ルーペ	デジタルカメラ、データ保存用カード等、必要に応じて色セロファン、パソコン〔指導者用〕

② 当日の流れ

活動内容	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> ・撮影コースを決め、活動する。 ・拡大したいものは、レンズの前にルーペを使いマクロ撮影してみる。 ・風景写真等には色セロファンを通しての撮影も面白い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジカメの使用方法を確認する。 ・撮影後のデータ処理は、団体で工夫する。

(3) ネイチャービンゴ

活動内容	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> ・ネイチャービンゴカードをチェックしながら、自然観察を行う。(館の周辺ややすらぎの森等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビンゴカード(資料参照)のデータ(PDF)はお問い合わせください。